

平成 29 年度

公益社団法人日本滑空協会

総会議事録

平成 29 年 6 月 4 日(日)14:00~15:00 於航空会館 B102 会議室

1. 議長選出および開会宣言

定款第 13 条の規定による定時総会開催に先立ち、定款第 16 条により開会時出席者で議長選出を行った。事務局長より会長に議長を務めていただく旨出席者に諮り、全員の賛成をいただいたので、会長が議長を務めることになった。

2. 定足の確認

議長の指示により甲賀事務局長が以下を説明、議長が定足を満足し、総会が成立することを確認した。

現在当協会正会員は 521、定足数は会員数の過半数で 261。

総会出席者:13

相島正敏、石橋正敏、井上善雄、甲賀大樹、小島哲男(中部航空連盟理事長事務長)、後藤昇弘 榊原飛鳥、佐志田伸夫、篠原治男、谷口良知、玉中宏明、丸山毅、吉田正克
欠席理事

日口裕二(常務理事)、八尾正孝(理事) 当協会後援イベント主催および参加のため
実質総会出席者:367(70.6%) (総会出席者、欠席直接裁決者、議決権委任者の合計)
内訳

欠席で議案を直接裁決した会員:223 承認 223 票、否認 0 票

欠席で議決権を委任した会員:122 内訳議長への委任 104 その他への委任 18。

欠席で棄権した会員:6

無効票:4(裁決内容記載無し4)

3. 議事録署名人の決定

議長が相島理事及び佐志田理事を議事録署名人に指名、両名応諾、出席者全員が同意。

4. 会長挨拶

今回の定時総会では、定款により、平成 28 年度決算報告案(第 1 号議案)について会員の皆様のご承認をいただくこと、ならびに平成 28 年度事業報告(第 1 号議案)、平成 29 年度事業計画(第 2 号議案)、同収支予算(第 2 号議案)の報告を受けていただくことです。

5. 議案説明

議長の指示により甲賀事務局長より平成 28 年度事業報告および決算報告があった。

4 月 28 日付で谷口、吉田両監事から監査報告書をいただいている。(出席者にコピー配布)

5.1 平成 28 年度事業報告

当協会事業は①滑空スポーツ統括・普及事業、②滑空スポーツ愛好家育成、③滑空競技会振興、④法人事業に分類され、事業内容はほぼ定常的になっている。

平成 28 年度は滑空機事故死亡者 4 名を数え、事故対策を優先的に実施した。

*3月の事故後、スピン事故防止のため、座学およびスピン初動までを複座機でインストラクター同乗で実施した体験者に当協会からスピリカバリー受講者章を7月から発行、現在 233 名に達している。

*10月の事故後滑空安全会議を招集、航空会館に全国から 100 名が参加。10月の事故説明および今後の当協会安全方針を発表した。

*その後期末までの間に航空安全講習会を各地で 6 回開催、200 名近くが受講。

*その他、昨年に引き続き、事故発生後迅速に情報提供し、週末の飛行活動前打合せで事故情報を紹介し、運航の安全喚起を行うことを継続している。

*競技会支援はほぼ例年通り開催され、名義後援を行った。2017 年 1 月 8-21 日オーストラリア ベナラで開催された第 34 回 WGC 15m クラスで市川 展選手は 37 選手中 2 位に入った。優勝者は Sebastian Kawa(ポーランド)。

5.2 平成 28 年度決算報告

収入 902 万、内会費 646 万(71.6%)、残り事業収入

支出 829 万、事業費 677 万(81.6%)、管理費 151 万(18.2%)

期末正味財産額 1052 万、うち 230 万は特定資産(滑空スポーツ公益基金)。

当協会の財政状態は平成 22 年度からの黒字政策により、平成 24 年度期首に正味財産が 411 万で最低になったあと上昇に転じ、平成 26 年度末には遊休資産過剰で問題になるまでになった。そのため今回滑空スポーツ公益基金を導入した。これは基本財産とともに用途が決まった財産で、遊休資産にはならない。当協会の正味財産額は滑空スポーツ公益基金を加えて 1000 万程度で、何か大きなイベントを実施すればすぐ無くなる程度で、特に大きな資産がある訳では無い。

6. 議案裁決結果

6.1 平成 28 年度決算案

出席者は全員承認、欠席者で直接裁決者 223 名全員承認、および議長への議決権委任票 104 票および棄権票と無効票の合計 10 票を除いて、本議案は承認された。

注:賛成反対同数の時、議長の判断で議長委任票をいずれかに加える。

7. 総会報告事項

以下は理事会承認で成立しているが、総会で会員に報告を受けていただく。

7.1 平成 28 年度事業報告

決算報告と同時に報告済。

7.2 平成 29 年度事業報告

講習会に対して独立行政法人日本スポーツ振興センターからスポーツくじ助成金を承認され

ているので、全国各地で講習会を実施し、滑空愛好者と面会するとともに滑空スポーツの安全向上に努める。

7.3 平成 29 年度収支予算

収入 959 万、内会費 672 万(69.3%)、残り事業収入

支出 913 万、事業費 788 万(86.3%)、管理費 124 万(13.7%)

期末正味財産額 1100 万、うち 230 万以上是滑空スポーツ公益基金の予定。

8. 閉会

以上を以てすべての議事を終了し、15:00、議長により閉会が宣言されました。

平成 29 年 6 月 4 日

公益社団法人日本滑空協会

議長 会長 後藤 昇弘

議事録署名人 理事 相島 正敏

議事録署名人 理事 佐志田 伸夫

議事録作成人 事務局長 常務理事 甲賀 大樹

以上